

理事補欠選挙結果報告

7月号にてお知らせした新理事の内、青柳桂一君、伊藤雅治君、三芳純君より辞任の申し出があったので、7月29日に評議員会を開催し、理事の補欠選挙を行いました。その結果、過半数の賛成を得て、下記の理事3名が当選されましたのでお知らせいたします。

■理事



小島 彰
(企画、研究担当)
通産省製鉄課長



澁谷 悌二
(国際交流、国際鉄鋼技術担当)
NKK常務取締役



中西 輝行
(企画担当)
川崎製鉄(株)取締役



シンポジウム開催案内

●日本圧力容器研究会議 (JPVRC)

第4回圧力容器の信頼性シンポジウム「国際標準化活動と我が国の対応」

圧力容器は国の種々の産業活動には欠かせないものであります。日本圧力容器研究会議 (JPVRC) は設立以来、圧力容器の信頼性向上の研究を各部会で行ってまいりました。その成果は幾ばくかは社会に貢献できたと考えている次第でございます。また、日本圧力容器研究会議設立当時に比べると、現在の圧力容器の分野も大きく変化し真の国際化が必須となってきました。

この様な背景のもとに国際標準化の活動状況、各部会の活動状況、本会議の今後の進む方向などについてご理解を頂くべく、第4回シンポジウムを下記のように企画いたしました。多数ご聴講頂きますよう、ご案内申し上げます。

1. 日 時：平成6年11月8日(火) 9：15～16：00
2. 場 所：アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 〒102 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL(03)3261-9921
3. 主 催：日本圧力容器研究会議 (JPVRC) (日本高圧力技術協会、日本溶接協会、日本鉄鋼協会)

4. プログラム

- 総合司会：乙黒 靖男 (群馬大)
9：15～ 9：25 開会挨拶.....西島 敏 (JPVRC会長)
- 講演
- 座長：永田 敬 (動力炉・核燃料開発事業団)
9：25～10：25 寿命診断とデータベースDr. M. Prager (P V R C)
10：25～11：05 圧力容器用鋼材におけるISO-EN-JISの関係について三宮好史 (川鉄)
11：05～11：45 米国のISO9000シリーズ関連動向坂元耕三 (通産省工技院)
- 座長：渡辺 竹春 (高圧ガス保安協会)
12：40～13：05 JIS B 8270圧力容器の規格体系小林英男 (東工大)
13：05～13：30 圧力容器の溶接システムに関する国内外の動向について.....稲垣道夫 (日本溶接技術センター)
13：30～13：55 最近のコンビナート発災とその予防 (含実例)西川康二 (高圧ガス保安協会)
13：55～14：20 日本における原子力発電所の安全確保策.....藤富正晴 (通産省資源エネルギー庁)
- 座長：武田鐵治郎 (長岡高専)
14：30～14：55 最近のTMCP鋼と規格化の動向.....大内千秋 (NKK)
14：55～15：20 高強度Cr-Mo鋼の特性と実用化の現状田原隆康 (日本製鋼所)
15：20～15：45 超音波探傷への集束探触子の適用について.....荒川敬弘 (石川島播磨)
15：45～16：00 JPVRCの活動と今後のあり方、閉会挨拶朝田泰英 (東大)

5. 参加費 (含テキスト代)：会 員 15,000円 (協賛学協会の方々を含みます。) 非会員：20,000円
6. 定 員：130名 (申込受け付け順)
7. 申込期限：平成6年10月21日(金)
8. 申込方法：下記の銀行口座に参加費をお払込頂くと同時に、申込用紙に所定事項をご記入の上、振込の受領証またはそれに代わるものも合わせて事務局まで郵送またはFAXでお送り下さい。
なお、お払込の際は会社名と参加を申し込まれたご本人のご氏名、および第4回セミナー参加費とご記入下さい。折り返し参加証をお送りいたします。
銀行口座：第一勧業銀行 東京中央支店 (普通預金) 1787173 (社)日本鉄鋼協会 JPVRCシンポジウム口
9. 申込・問合せ先：(社)日本鉄鋼協会 JPVRC事務局 江口 純、大島 孝子 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
TEL(03)3279-6021 FAX(03)3245-1355